

若年者ものづくり競技大会愛媛大会出場に向けた選手強化訓練の実施について

令和3年度に愛媛県において開催される「第16回若年者ものづくり競技大会」に出場を目指す選手の競技能力向上のため、令和2年8月4日（火）ポリテクセンター愛媛において、外部機関を活用した初回となる強化訓練を実施しました。

ポリテクセンター愛媛の教員指導のもと、松山聖陵高等学校1年生3名が、フライス盤の特徴や性能、回転数設定の操作方法、刃や測定具の取付方法など、切削加工前に必要な基礎となる作業を学びました。ポリテクセンター愛媛教員の「機械を知り尽くして精度を出す。」との教えに従い、切削前作業の重要性を確認し、何度も繰り返して訓練しました。

今後も、学校での訓練に加え、ポリテクセンター愛媛教員の指導を仰ぎ、第16回若年者ものづくり競技大会での初出場、初入賞を目指して訓練に取り組みます。



※強化支援に係るコーディネートは「愛媛県職業能力開発協会」が行っています。

【競技大会概要】

若年者ものづくり競技大会は、職業能力開発施設や工業高等学校等において、技能を習得中の20歳以下の若年者を対象とした技能競技大会で、若年者に目標を付与し、技能を向上させることにより若年者の就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図ることを目的としており、令和3年度には、愛媛県で中四国初となる第16回大会（全国大会）が開催されます。

- 1 競技日程 令和3年8月4日（水）～5日（木）
※一部競技は先行実施（フライス盤は、8/1（日）～5（木）の予定）
- 2 主催 厚生労働省、中央職業能力開発協会
- 3 場所 アイテムえひめ（メイン会場）、愛媛県武道館、
愛媛職業能力開発促進センター（ポリテクセンター愛媛）、日産愛媛自動車大学校
- 4 参加選手 約450人